

**2** 1 mの重さが2.14 kgのパイプがあります。  
このパイプ3.8 mの重さは何kgですか。

○ 式を書きましょう。 式 \_\_\_\_\_


○ どうしてその式になったのか、理由を説明しましょう。

● 「比例」や数直線の図を使って説明できるかな？

-----

-----

-----

 計算のしかたを考えましょう。

● 前の時間では小数の計算を整数だけの計算にしたね。この考えをもとにまず自分で考えてみよう。

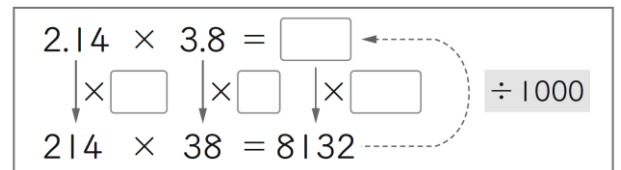

**1** 右の計算のしかたを説明しましょう。

-----

-----

-----

-----



2.14 × 3.8の積は、2.14を100倍し、3.8を10倍して  
214 × 38の計算をし、積を1000でわれば求められます。

● 整数の計算でできるように、かけ算の性質せいしつを使ったんだね。

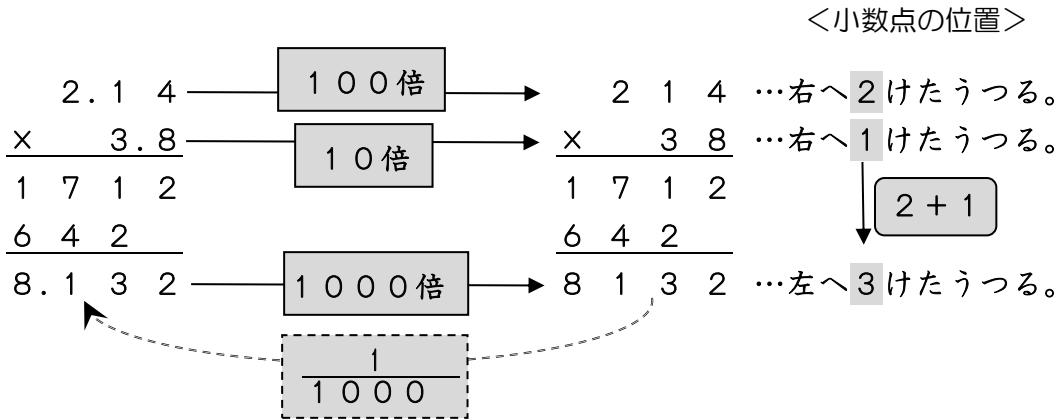
$$\begin{aligned}
 2.14 \times 3.8 &= (2.14 \times 100) \times (3.8 \times 10) \div 1000 \\
 &= 214 \times 38 \div 1000 \\
 &= 8.132
 \end{aligned}$$

答え 8.132 kg



2.14 × 3.8の筆算のしかたを考えましょう。

- まず、整数の214 × 38の筆算をして、それを2.14 × 3.8になおすことを考えよう。



- 上の考えをみて、自分なりに筆算のしかたを考えて、説明してみよう。

---



---



---



---

- 教科書45ページの小数をかける筆算のしかたをみて、筆算のしかたをまとめよう。

2 176 × 54 = 9504をもとにして、次の積を求めましょう。

① 17.6 × 54 = \_\_\_\_\_      ② 176 × 5.4 = \_\_\_\_\_

③ 1.76 × 5.4 = \_\_\_\_\_

3 正しい積になるように、積に小数点をうちましょう。

①

$$\begin{array}{r} 1.7 \\ \times 2.3 \\ \hline 51 \\ 34 \\ \hline 391 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 76.5 \\ \times 8.3 \\ \hline 2295 \\ 6120 \\ \hline 63495 \end{array}$$



● 今日の学習をふり返って、感想を線で囲もう。

□ むずかしかった

△ 少しむずかしかった

○ だいたいわかった

◎ よくわかった

● よくわからなかったところ、むずかしかったところがあれば、先生に<sup>しつもん</sup>質問して、なっとくするまで考えよう。

---

---

---